

CASBEE-建築(新築)2016年版
グランフォーレ千早マークスクエア イーストウイング

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階		評価点		重み係数		全体	
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数				
Q 建築物の環境品質									3.1
Q1 室内環境			0.40						3.4
1 音環境	目標値	4.0	0.15	4.0	1.00				4.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50				
1.2 遮音		5.0	0.50	5.0	0.50				
1 開口部遮音性能	T-2サッシを採用	5.0	1.00	5.0	0.30				
2 界壁遮音性能	遮音性能TDL-55を採用	3.0	-	5.0	0.30				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	置床遮音等級LL-40を採用	3.0	-	5.0	0.20				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	置床遮音等級LH-50を採用	3.0	-	5.0	0.20				
1.3 吸音		3.0	-	3.0	-				
2 温熱環境		2.0	0.35	3.0	1.00				2.8
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	1.00				
1 室温	一般的な室温を実現するための設備容量を設置している	3.0	0.63	-	-				
2 外皮性能		3.0	0.38	3.0	1.00				
3 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-				
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-				
2.3 空調方式		1.0	0.30	-	-				
3 光・視環境		2.0	0.25	3.4	1.00				3.2
3.1 昼光利用		1.8	0.30	3.4	0.35				
1 昼光率	住居部の昼光率=2.6%	1.0	0.60	5.0	0.50				
2 方位別開口		-	-	1.0	0.30				
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20				
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.35				
1 昼光制御	庇及びカーテンによりグレアを抑制	2.0	1.00	4.0	1.00				
3.3 照度		1.0	0.15	-	-				
3.4 照明制御	制御盤及び照明器具で調整	3.0	0.25	3.0	0.29				
4 空気質環境		4.2	0.25	4.0	1.00				4.0
4.1 発生源対策		5.0	0.60	5.0	0.63				
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆以上の建材をほぼ全面的に採用	5.0	1.00	5.0	1.00				
4.2 換気		3.0	0.40	2.3	0.38				
1 換気量	建築基準法を満たす換気量	3.0	0.50	3.0	0.33				
2 自然換気性能		3.0	-	1.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮	空気取り入れ口は汚染源のない方向に設けられている	3.0	0.50	3.0	0.33				
4.3 運用管理		-	-	-	-				
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-				
2 喫煙の制御		3.0	-	-	-				
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-				3.4
1 機能性		3.3	0.40	4.4	1.00				4.2
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60				
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-				
2 高度情報通信設備対応	住居の各居室にGbit対応	3.0	-	5.0	1.00				
3 バリアフリー計画	バリアフリー新法を満たしている	3.0	1.00	-	-				
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.5	0.40				
1 広さ感・景観	住居部天井高=2.6m	3.0	-	4.0	0.50				
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-				
3 内装計画	評価する取り組みが2項目	3.0	1.00	3.0	0.50				
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-				
1 維持管理に配慮した設計	評価する取り組みが6項目	4.0	0.50	-	-				
2 維持管理用機能の確保	評価する取り組みが9項目	4.0	0.50	-	-				
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-				3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	基準法に定められた耐震性を有する	3.0	0.80	-	-				
2 免震・制震・制振性能	揺れを抑える装置を導入していない	3.0	0.20	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.7	0.30	-	-				
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3	5.0	0.20	-	-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.10	-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	ほぼ全てに垂鉛鉄板を使用	3.0	0.10	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給排水に硬質塩化ビニール管を採用	5.0	0.20	-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔	更新必要間隔15年	3.0	0.20	-	-				
2.4 信頼性		2.2	0.20	-	-				
1 空調・換気設備		1.0	0.20	-	-				
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-				
3 電気設備	評価する取り組みが1つ	3.0	0.20	-	-				
4 機械・配管支持方法	耐震クラスB	3.0	0.20	-	-				
5 通信・情報設備		2.0	0.20	-	-				

3 対応性・更新性		3.6	0.30	2.6	1.00	2.7
3.1 空間のゆとり						
1	階高のゆとり	階高=2.81m	3.0	-	3.0	0.60
2	空間の形状・自由さ		3.0	-	1.0	0.40
3.2 荷重のゆとり		居室の積載荷重=1,800N/m ²	3.0	-	3.0	0.50
3.3 設備の更新性			3.6	1.00	-	-
1	空調配管の更新性	中央式空調設備をもたない	3.0	0.20	-	-
2	給排水管の更新性	構造部材を痛めることなく修繕更新できる	4.0	0.20	-	-
3	電気配線の更新性	構造部材だけでなく仕上げ材を痛めることなく修繕更新できる	5.0	0.10	-	-
4	通信配線の更新性	仕上げ材を痛めることなく修繕更新できる	5.0	0.10	-	-
5	設備機器の更新性	更新ルートはあるが更新時に維持不能	3.0	0.20	-	-
6	バックアップスペースの確保	バックアップスペースが確保されていない	3.0	0.20	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		評価ポイント3	3.0	0.40	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上		評価ポイント8	3.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	3.2
LR1 エネルギー			-	0.40	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20	-	3.0
2 自然エネルギー利用		専有部が外皮に2方向面している	3.0	0.10	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.89	4.2	0.50	-	4.2
4 効率的運用			3.0	0.20	-	3.0
集合住宅以外の評価						
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-
集合住宅の評価						
4.1	モニタリング	取り組み無し	3.0	0.50	-	-
4.2	運用管理体制	設備ごとの取扱説明書が居住者に手渡されている	3.0	0.50	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	2.6
1 水資源保護			3.4	0.20	-	3.4
1.1 節水		節水コマ及び節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-
1	雨水利用システム導入の有無	雨水利用の仕組み無し	3.0	0.70	-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無	雑排水等を利用していない	3.0	0.30	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			2.2	0.60	-	2.2
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.13	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.25	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.25	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.13	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み			3.0	0.25	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		確認していない	3.0	0.30	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-
1	消火剤		-	-	-	-
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0を採用	3.0	0.50	-	-
3	冷媒	ODP=0を採用	3.0	0.50	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	3.4
1 地球温暖化への配慮			4.5	0.33	-	4.5
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	2.5
2.1 大気汚染防止		排出基準以下	3.0	0.25	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-
1	雨水排水負荷低減	雨水排出抑制対策を実施していない	3.0	0.25	-	-
2	汚水処理負荷抑制	基準を満たしている	3.0	0.25	-	-
3	交通負荷抑制	評価ポイント2	3.0	0.25	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制	評価ポイント3	3.0	0.25	-	-
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-
1	騒音	規制対象外	3.0	1.00	-	-
2	振動		-	-	-	-
3	悪臭		-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-
1	風害の抑制	風害対策に対する要請がない	3.0	0.70	-	-
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-
3	日照阻害の抑制	日影規制がない	3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	評価ポイント4	5.0	0.70	-	-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	対策を行っていない	3.0	0.30	-	-